

キャラクター名

宵夜 夜宵 (よいよる やよい)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	都市伝説
	エンジェルハローウ					
オプショナル			年齢	不詳	性別	不詳
覚醒	無知	衝動	妄想		初期侵食率	40 %
出自	孤独な魂	経験	勧誘		邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	0	0			1	行動値	12
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	12
精神	3	0	0		1	4	戦闘移動	17
社会	0	1	0			1	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			R C	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：ゼノス	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
スタニングボタン		ロイス			
スパーキーウォッチャー					
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		怪人	P	N	
		プランナー	P	N	
		支部長（仮）	P	N	
		ガキ	P	N	
		お兄ちゃん	P	N	
		黒木	P	N	
		くねくね	P	N	
		最大財産P:		2	残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
オリジン：R	1	2	マイナー					
効果：シーン間精神判定+lv*2								
ヒューマンズネイバー	1	+5	常時					
効果：衝動判定D+lv								
C：ウロボロス	2	2	メジャー					
効果：C値- l v								
無形の影	1	4	メジャー				R1	
効果：精神置換。あらゆる判定に使える								
陽炎の衣	2	3	マイナー				シンlv	
効果：メインプロセス終了まで隠密								
見えざる死神	3	2	メジャー	武器		白射	隠密	
効果：判定D+1、攻撃+lv*3								
幽霊タクシー:ハンティング	1	1	マイナー				シン1	
効果：戦闘移動								
デスストーカー	3	+5	常時				隠密	
効果：攻撃lv*4								
これが本当のワタシ	1	2d10	セットアップ				100↑	
効果：シーン中Dロイス追加取得								
E:ディメンジョンゲート	★	3						
効果：								
ディテクトエフェクト	★							
効果：過去にその場で使われたエフェクトがわかる								
道化の出し物	★	1						
効果：エフェクト偽装								
情報伝播	★							
効果：自身を噂として知る者に噂を流せる								

なあ、「遊園地の人さらい」って知ってるか？
遊園地で楽しく遊んでいた家族…だが、両親が子供から目を離したスキに、忽然と子供が消えてしまったんだ。泡を食って探す両親は、園内を必死で探すが見つからない。夕暮れになって警察も一緒に探すが一向に見つからないんだ。高い塀に囲まれた遊園地、勝手に出れるはずがないのに…。閉園間際、職員たちも閉園の支度を始めた。その中に、大きな袋を持ったピエロがいたらしい。ぶと持ってる荷物に父親が目を向ける。袋の口からはみ出していたのは、今朝おろしたばかりの我が子の靴だった…
おや、聞いたことある？ほう、ピエロじゃなく民族衣装を来た一団だった話…なるほど、そういうパターンもあるのか。まあでも、イマイチだよな。だって結局無事に帰ってくるわけだし…
じゃあ、これはどうだ？
「客の消えるブティック」。外国に旅行に来たカップルがいた。二人で地元の服飾店を巡ると、ある店で彼女は気に入った服を試着に行った。ところがいつまで待っても帰ってこない。店員も、地元の警察も一緒になって探すけど、結局彼女はどこにもおらず…
まあ待てよ、この話には続きがあるんだ。結局見つからなかった彼女を一旦は諦め、男は国に帰る。数年後、もう一度その国にきた男は再び探し始めるんだ。しかし慣れない外国、疲れ果てて治安の悪い裏路地に迷い込んでしまう…。そこでは路上で見世物小屋のようなものが開かれていてな。そこにいたのは両手両足が無く、全裸の女。それが四つん這いで這い回っていた。ぶつぶつとうわごとを吐くその女。だが男にはその声に、聞き覚えがあった。『たすけて…日本に帰して…』なんとそれは行方不明になっていた男の恋人だったんだ…男達の入ったブティックは裏で人身売買組織と繋がっていて、試着室の仕掛けで拉致されてしまっていたらしい。
おお、これはお気に召したか？ん？なんでこんな話をするかって？そもそもここはどこで、俺をどうするつもりかって？いや、その話をしてるんだよ。『どうしてオマエが消えたのか？』
さあ、時間はたっぷりある。オマエが居なくなった理由。一緒に考えような？

彼、あるいは彼女は『行方不明の都市伝説』。人さらい、神隠し、拉致、あるいは大自然の驚異…それらを司る都市伝説。人間が居なくなるという結果、あるいは過程を辿るなら、おおそ彼の射程範囲内だ。とはいえ、広すぎる噂話は指向性を持たない。殆ど自我も無く、消える人間を見つめるだけだった彼を見いだしたのはプランナーだった。『貴方が本当は何なのか…いえ、何だったのか。私と探してみませんか？』